



富田東小だより

郡山市立富田東小学校
学校便り No.8
令和5年 1月10日
文責：校長 齋藤和彦

2023年（令和5年）の始まり 3学期（51日間）にできること



新年を迎えて、気持ちも新たに第3学期が始まりました。あっという間に過ぎていく学期です。まとめの学期でもあり、進学・進級につなげる学期でもあります。

4月からの新年度に“ぴょん！ぴょん！”元気にスタートできる準備を（力を）つけていきましょう。

う えの目標をめざして、「**う**んとしょ！どっこいしょ！」友だちと力を合わせ、できたことをふやしていきましょう。『ぼくは私はできる！』自信になります。

さ いこうにがんばった努力のあとは、きっと、**さ**っぱりと**さ**わやかな気持ちになりますよ。もっとがんばるぞ！次もがんばる力につながります。

ぎ あを入れて、さあ3学期の出発です。いいことが**ぎ**っしりの3学期になるといいですね。新しい学年が待っています。“ぴょん！ぴょん！”元気にスタートできる準備をしていきましょう。

コロナ感染対策に「油断なく」

未だ終息の兆しが見えないコロナ禍です。

3学期も感染拡大防止対策を継続し、できる限りの教育活動を推進していきます。

- 毎朝の検温・健康チェック・報告
※ 引続きリーバー入力報告をお願いします
- 校舎内・教室内の十分な換気
※ 特に教室内は十分な換気徹底により、必要に応じて暖かい服装の配慮をお願いします
- 給食時の黙食を継続
※ 文科省：緩和措置が通知されましたが、市感染状況より黙食継続します（市教委通知）
- 活動時の密状況回避
※ 学年内学級合同活動を検討します
- 教室入室時の手指消毒



“あたりまえのこと”を「あたりまえに」 ～新年度につながる準備として～

- あいさつをする（自然に）
- 返事をする（はっきりと）
- 靴をそろえる（キチンと）
- 服をたたむ（きれいに）
- 話を聞く（静かに最後まで）



こんなこと“あたりまえ”と思われるかもしれませんが、これらを「あたりまえに」できることは、すごいことなのです。【～平凡の非凡化～】

『あたりまえのことがあたりまえにできる』ということ

- 挨拶は、万物の礼儀であり尊重する心を育む
- 返事をすることは、人を敬う心を育む
- 靴をそろえることは、身だしなみを整える態度を育む
- 服をたたむことは、常に準備を怠らない態度を育む
- 話を最後まで聞くことは、集中力を育み判断力を養う

中学校進学・学年進級する新年度に向けて「しっかり学ぶ」（日々の授業を整える）
「安心して生活」（日々の生活を整える）
そのための～準備の基として、日常生活のふるまいを整えることを振り返ります。

この姿は学校教育だけで育つ姿（習慣）ではありません。家庭・地域の躰（習慣）、つまり、子どもが大人（親）の後ろ姿を見て（魅て）まねるように身に付く姿なのです。

私たち職員も、子どもがまねをしたくなるような「ふるまい」を心がけていきます。



次年度（令和5年度）「太陽の子」を育てる教育計画を編成しています。

【R5重点】として、『日常の学校生活・日々の授業を整える』を掲げ、生活規範・学習規範づくりに向けた、全職員の方向性や教育活動実践ベクトルを一にする計画を検討しているところです。1000人の大規模校でも落ち着きと..安全・安心な環境をめざします。

<学校生活の様子を掲載しています>
～子ども達の笑顔や活躍の姿です～

【富田東小ホームページ】を検索ください

